SKY NEWS

2022
Special Issue

新年恒例の「スカイニュース」をお届けします。
スカイコートは、2022年も皆さまとともに歩んで参ります。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

GUEST

SHIZUKA ARAKAWA

荒川静香

特別対談
Special Talk
01

年に一度トップアスリートをお招きし、社長の西田美和と楽しいトークを繰り広げる「スカイニュース特別対談」。今回はプロフィギュアスケーターの荒川静香さんにお越しいただきました。

Photo by Takeshi Kimura

——おふたりの出会いや、当時の印象について教えてください。

西田　2004年のアイスショー『プリンスアイスワールド』だったと思います。

荒川さん　そうですね。当時、私はまだ学生でした。美和さんは華やかな世界にいる人という感じで。コーチをしている姿も印象に残っています。普段から美しくされていて、出会ってから20年近くになりますが、まったく変わりません。

西田　いえいえ、ずいぶん変わりました（笑）。荒川さんは当時すでに全日本選手権2連覇、ユニバーシアード、冬季アジア大会優勝など、華々しい活躍をされていました。やさしくておっとりしていて、とってもお茶目（笑）。その印象は今も昔も変わりません。

荒川さん　クールに見られるんですけれど、人見知りなだけなんです（笑）。

——荒川さんといえば2006年のトリノ五輪の金メダルに日本中が湧きました。あの場に美和さんもいたそうですね？

西田　はい。もう圧巻のスケートで本当に素晴らしかったです。拍手と感動で会場が揺れていたのを今でも覚えています。

荒川さん　ありがとうございます。フィギュアスケートはずっと「欧米の競技」という認識があり「欧米の選手の次には演技したくない」というのが一般的でした。彼女たちの演技はもちろん綺麗で素晴らしいです。でも、それに似せる必要はないのでは？と思うようになりました。欧米人とアジア人では、そもそも手足の長さなど体のつくりが違います。自分らしく、自分ができる最大・最高の演技をしたいと考えるようになり、迎えたのがトリノ五輪でした。

西田　その結果が、アジア人としてフィギュアスケート女子シングル初の金メダルだったのですね。

荒川 静香 Shizuka Arakawa

プロフィギュアスケーター。2006年トリノ五輪金メダリスト。日本スケート連盟副会長。1981年生まれ。5歳からスケートを始め、小学3年で3回転ジャンプをマスター。94年から全日本ジュニアフィギュア選手権で3連覇。98年長野五輪出場。04年にワールドチャンピオンとなり、06年のトリノ五輪では金メダルを獲得。同年5月にプロ宣言し、アイスショー『フレンズ・オン・アイス』を企画。現在は、国内外のアイスショーを中心に活動。メディア出演、スケート解説など幅広い分野で活躍を続けている。

西田 美和 Miwa Nishida

8歳よりフィギュアスケートを始め、プロフィギュアスケーターとしてアイスショーなどで活躍。振付、コーチとして後進を育成。2010年、全国公開映画『COACH』主演。13年より父が興したスカイコートの経営に参加。19年より社長。21年『はじめてのマンション経営』（経済界）を上梓。

特別対談
SKY NEWS Special Talk

――金メダルを取った年に、荒川さんはプロ転向を宣言。すぐにアイスショー『フレンズオンアイス』をプロデュースされました。

荒川さん　私はもともと人と競ったり、争ったりするのが好きではなくて。それでもオリンピックを目指そうと思ったのは、アイスショーで滑りたかったからです。10代の頃に『プリンスアイスワールド』を初めて見て「アイスショーに出たい！」と思い、人生の目標が決まりました。アイスショーはプロモーターさんから呼ばれないと出られません。世界中のアイスショーに呼んでもらえるようになるためには、金メダルを取るのが一番でした。

西田　それで本当に金メダルを取ってしまうところが、荒川さんのすごいところです。

荒川さん　ふだんはのんびりしているんですけれど、目標を決めるとストイックになれるんです（笑）。それまで競い合ってきた仲間たちと一緒に、それぞれが自分らしく滑るアイスショーの舞台が私は大好きです。観たいと思ってくださる方達がいるおかげで『フレンズオンアイス』は今も続いています。プロとして活動できる場があることはスケーターとして嬉しいです。後進の活躍の場も作りたいですし、子供たちにも夢をもってもらいたいですね。

西田　荒川さんの金メダルとその後の活動で日本のスケート界は救われました。荒川さんは今も365日、毎日リンクに立っていますが、妊娠中も滑っていましたよね？

荒川さん　はい。歩くよりも滑る方が楽でした（笑）。

西田　子育てとの両立は大変だと思いますが、いかがですか？

荒川さん　日常はカオスです（笑）。仕事よりも家族の予定の方が多くて、夜23時に眠って朝4時に起きる毎日です。自分が何かを諦めれば楽になるのはわかっているんですが、ついやってしまいます。でも、子供が中心の生活も一生続くわけではありませんし。限られた楽しい時間だと思っています。

――ところで、荒川さんは「間取り好き」だと伺いました。

荒川さん　はい。物件を見るのが好きで、こんな間取りならこう使ってこう住んで、と考えるのが楽しいです。マンション経営というと、昔はゆとりのある方がやるものという印象でしたが、今は将来のための保険のひとつというイメージです。ただ、始め方を知る機会は少ないかもしれません。

西田　そうですね。近年は若いお客さまも増えています。昨年出版した『はじめてのマンション経営』が、興味ある方にとって入口になったら嬉しいです。

――最後に、おふたりの今後の展望についてお聞かせください。

西田　会社をさらに成長させ、お客さまにもっと笑顔になっていただけるようサービスを充実させたいです。アイスショーをはじめエンターテインメントには、人を笑顔にさせる力があるので、その可能性も広げていきたいと思います。

荒川さん　公演できなかったコロナ禍を経験し、アイスショーなどで皆さんに観ていただくことが、どれほどいい刺激になるかを感じました。今やっていることをしっかり続けて、次の世代に受け継いでいきたいです。新しいエンターテインメントも生み出してみたいですし、孫の顔も見たいです（笑）。とにかく一生懸命やっていきたい。そう思っています。

2021年5月に上演されたアイスショー『LUXE』では、荒川さん、高橋大輔選手、村元哉中選手、西田が氷上で共演しました。

金メダル獲得から16年。年々、美しさを増す荒川さん。スケーター仲間やファンからは「しーちゃん」の愛称で親しまれています。

2021年のスカイコート

2021 topic 02

2021年は、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、オンラインを活用したセミナーやトークイベント、ぬり絵企画、学生コンペなどを通じて皆さまと交流することができました。社長・西田美和の『はじめてのマンション経営』も出版されました。

2021 SKYCOURT

1月

・特別番組「スカイコート presents 村元哉中・髙橋大輔 2021初滑りスペシャル！」配信

・「スカイコートグランメゾン御殿山」販売・新聞広告掲載

・「D-colorプロジェクト」第2弾販売開始

・2021年新春「マンション経営セミナー」開催

3月

・西田美和初の著書『はじめてのマンション経営』出版

・BS番組『ケンドーコバヤシの社長！お手伝いさせて頂きます！』放送

5月

・都営バスにてラッピングバス運行

・ラジオinterFMの時報CM放送

・アイスショー『LUXE』協賛

7月

・ラジオinterFM『THE DAVE FROMM SHOW』西田美和出演

・「ファストドクター」サービス提携

9月

・インターンシップを実施

・「スカイコートプライム大井町」完成

・第2回「スカイコート学生プランニングコンペ」開催

・リノベーション物件見学会を実施

11月

・オーナーさま向け「家族信託セミナー」開催

2月

・「スカイコートプライム亀戸」完成

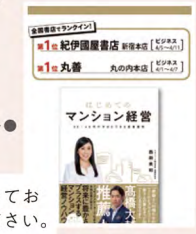
・第1回「スカイコート学生プランニングコンペ」表彰式

・オーナーさま向け「税務セミナー」開催

・クラフトラボのリノベーション物件（目黒が丘）完成

4月

・『はじめてのマンション経営』書店ランキング1位



初心者の方向けにわかりやすく解説しております。ぜひ、お手にとってみてください。

・新入社員入社式

6月

・「マンション経営トークイベント」開催

・BS12『LiLiCo＆小田井夫妻の老後を豊かにするマンション経営』CM放送開始

サラリーマン投資家の藤井大輝さん、経済キャスターの長谷部真奈見さんをお迎えしました。

8月

・オーナーさま向け「火災・施設賠償責任保険セミナー」開催

・グッドデザイン賞一次審査突破

「スカイコートグランメゾン御殿山」と髙橋選手プロデュースのD-color第2弾のデザインが評価されました。

10月

・みんなの笑顔企画 第2弾「おうちで楽しむぬり絵コンテスト」作品展開催

12月

・「スカイコートグレース中野哲学堂」完成

・「今すぐできる節約術セミナー」開催 インフルエンサーくぅちゃん初登壇

2022

ご報告

Report 03

「D-colorプロジェクト」では

髙橋大輔選手がマンションの**トータルコーディネーター、リノベーションプランナー**として活躍！

第2回「学生プランニングコンペ」では

髙橋大輔選手が審査員の1人として参加決定。

「みんなの笑顔企画」第2弾は

髙橋大輔選手・村元哉中選手のおふたりが審査員！

アスリートスポンサー活動！

スカイコートは、アイスダンスでペアを組む髙橋大輔・村元哉中両選手の選手サポートスポンサーを務めています。2021年のNHK杯で日本歴代最高得点をマーク、つづくワルシャワ杯ではさらに得点を更新。躍進を続けるふたりの活動を、引き続き応援していきます。

アイスダンス
髙橋大輔 選手
村元哉中 選手
オフィシャルスポンサー

メッセージ
Message

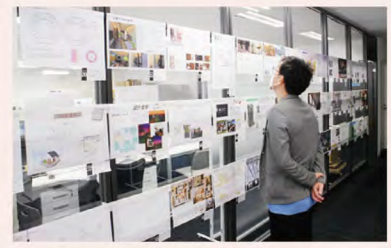
04

オーナーさまと
明るい未来のために
さまざまな取り組みを
広げています

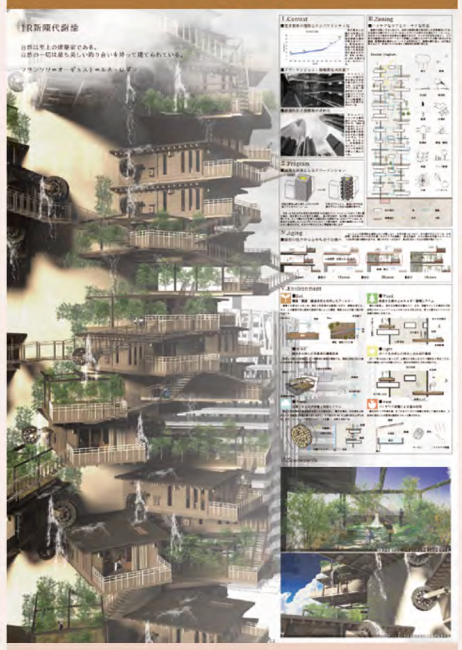
取締役社長
西田 美和

素晴らしい若き才能が集まりました!
第１回「スカイコート学生プランニングコンペ」

建築士・インテリアデザイナーを目指す学生たちによる「スカイコート学生プランニングコンペ」を開催しました。テーマは「未来の東京のワンルームマンション」。100点以上の応募作品から最優秀賞1点、優秀賞2点が選ばれました。

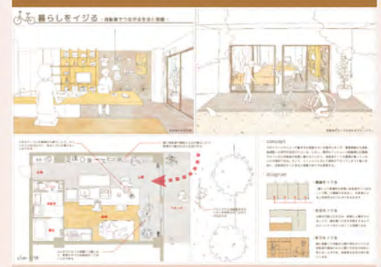


最優秀賞



「1R新陳代謝論」
三浦光雄さま・岩谷蓮さま

優秀賞



「暮らしをイジる」林侑也さま

優秀賞

「ニコイチ」松村拓哉さま

色鮮やかな「ぬり絵」がたくさん届きました!
みんなの笑顔企画 第２弾「おうちで楽しむぬり絵コンテスト」

みんなが笑顔になる参加型企画の第2弾「ぬり絵コンテスト」を開催しました。150点もの作品が集まり、髙橋大輔選手・村元哉中選手が優秀賞、準優賞、K7D1（かなだい）賞を選出。社員の投票によるスカイコート賞も表彰させていただきました。詳しくは特設サイトやYouTubeをご覧ください。

審査員はこのおふたり！
審査の舞台裏をYouTubeで配信中

第３弾もお楽しみに!

オーナーさま&ご入居者さまの健康を見守る新しいサービスです
ファストドクター

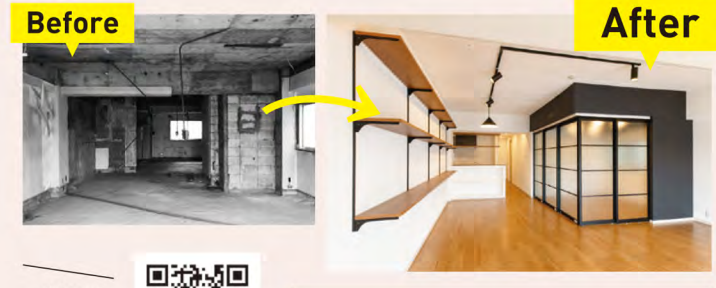
24時間365日、症状に合わせて、救急病院案内、夜間休日往診、オンライン診療などを提供する総合窓口「ファストドクター」をご利用いただけます。

ご所有物件の売却・資産運用などご相談ください
スカイコート資産コンサルティング部

おかげさまで多くのご相談をいただいており、買取り・ご売却などの成約件数も増えております。オーナーさまにとっての最善策を一緒に考え、ご提案いたします。

物件価値を高める「リノベーション」そろそろ、いかがですか？
スカイクラフトラボ

スカイコートの建築デザインのノウハウで、物件を魅力的にリノベーションしませんか？　時代のニーズに合わせた多彩なプランで、物件をよみがえらせて、新しい付加価値をプラスできます。



詳細はコチラ！

SKYCOURT RENOVATION
SKYCRAFTLab.

SKY NEWS
特別号

編集・発行／スカイコート株式会社　ブランディング部
〒162-0067 東京都新宿区富久町8-22 スカイビル
電話／ 0570-055-558
ホームページ／ https://www.skyc.jp
発行日／令和4年1月1日 © Sky Court Co., Ltd. All rights reserved

公式YouTubeやSNSもご覧ください!

おすすめ
YouTube（ユーチューブ）スカイコートチャンネル
Instagram（インスタグラム）@skycourt50
Twitter（ツイッター）@skycourt50
Facebook（フェイスブック）@skycourt50